

事業番号	事務事業名	起業者支援事業	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04345	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	産業観光課	担当者・シート作成者	石田 和之
	施策名	24 商工業の振興	根拠法令等	鏡野町起業支援事業補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町産業の振興及び地域経済の活性化を図るため新規創業者に対し予算の範囲内で経費の一部を助成する。新規創業相談会の開催。 ①補助金等交付申請書の受理 ②補助金等交付決定通知 ③補助金の確定 ④補助金の支払 ⑤実績報告書の検査	鏡野町創業支援事業計画に基づき、地域経済の活性化を図るべく認定連携創業支援事業者である鏡野町商工会、日本政策金融公庫等と連携し、創業支援を推進すべく補助金創設を行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	新規創業者	→	ア	新規創業者数	者(社)	見込 実績	8 8	8 9	8 9	8 9
イ		→	イ			見込 実績				
ウ		→	ウ			見込 実績				

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	町内で多くの方に創業してもらおう	→	ア	新規創業者数	者(社)	目標 実績 達成率	8 9 112.5%	8 9 112.5%	8 9 112.5%	8 9 112.5%
イ		→	イ			目標 実績 達成率				
ウ		→	ウ			目標 実績 達成率				

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	補助金の支払	→	ア	補助金の支払回数	回	目標 実績 達成率	8 9 112.5%	8 9 112.5%	8 9 112.5%	8 9 112.5%
イ		→	イ			目標 実績 達成率				
ウ		→	ウ			目標 実績 達成率				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		07 項 01		目 02		02 01		13 01					事業番号
	一般会計		商工費		商工費		商工振興費		起業者支援事業					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	04345	
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	8,200	9,128	14,130	14,130	14,130	5,002	一般財源	7,345	8,616	8,385	14,130	14,130	-231	
合計	8,200	9,128	14,130	14,130	14,130	5,002	合計(A)	7,345	8,616	8,385	14,130	14,130	-231	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10			
	人件費計(千円)(B)						35	33	34	34	34	0		
	最終予算額		14,130 千円	予算執行率		59.3%	トータルコスト(A+B)		7,380	8,649	8,419	14,164	14,164	-231
主な 支出事業内容 (予算)	補助金				14,000 千円		主な 支出事業内容 (決算)	補助金				8,277 千円		
	印刷製本費				100 千円			印刷製本費				83 千円		
	手数料				30 千円			手数料				26 千円		

事業番号	04345	事務事業名	起業支援事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
鏡野町商工会会員数は上昇傾向にあり、創業支援を検討する方も増加してきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
鏡野町創業支援事業計画に基づき、相談窓口(鏡野町商工会)の設置し個別相談等を実施してきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町内で創業する場合のメリット(補助制度)等の創設を鏡野町商工会を通じて聞いていた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 鏡野町創業支援事業計画に基づいての制度であり、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 鏡野町創業支援事業計画に基づいての制度であり、結びついている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 鏡野町内へ新規に創業する者に対する助成であり、対象は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 制度導入5年目であるが、廃業した事業所はなく、一定の成果は出ている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 制度導入5年目であるが、制度開始から制度を利用して一定の創業者が毎年出ていることから、廃止することでの影響はある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 補助金交付を手段としており、改善余地は見当たらない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 創業経費はかなりの額になるため、県内のなかで鏡野町内での創業の推進を行い、目玉として実施するため、削減余地はないが、制度導入後5年が経過したので、今後検討の余地はある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金の支払事務、個別相談会開催業務のみであり、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 HP、広報、有線テレビでの周知を行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	最終的に企業規模を拡大し雇用の創出につなげていてもらいたいが、事業内容では当面雇用の増加は見込めない。雇用の創出が条件になっていないため致し方ないが、今後個別相談会等で、雇用創出(増加)を目指していただける事業計画の相談も行うべきではないか。																						
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 現在の制度では、個人事業主と法人会社のどちらの創業でも同じ補助上限となっていること等があるため、制度が5年経過したこともあり、実績を検証し、制度改正も含めて、充実した創業支援に至るように関係機関と協議していく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								
働き方が変わり、兼業も許可している会社が増加していることもあり、制度改正を行う場合は、ある程度の事業周知期間が必要である。																								